

FAQ

よくあるお問い合わせ

一般的な冷蔵庫^{*1}と
薬用保冷庫の違いは?

医薬品^{*2}や試薬類^{*2}の保存管理で、こんなお困りごとはありませんか?

凍結

霜による温度変化は医薬品や試薬類の品質低下の一因となります。自動霜取り機能により凍結などを防ぎます。



記録・管理

「ノートに担当者がメモをする」といった、人の手に頼った記録・管理になってしまいませんか? ログ機能により、温度管理をデジタル化します。



温度変化

一般的な冷蔵庫では、庫内の温度上昇が起こっていても気が付くことができません。薬用保冷庫ではアラームが鳴ります。



医薬品や試薬類の保存管理には「庫内を安定した温度に保つ」機能が搭載されたPHCbiのノンフロン薬用冷蔵ショーケース・ノンフロン薬用保冷庫をお使いください。

■庫内温度を一定に保ったまま、ヒーターを使って庫内温度を制御するため、庫内温度の降下と収納物の凍結を防止します。

■ログ機能により、警報・温度・ドア開閉の記録を保持、USBへのデータ出力が可能です。^{*3}

■温度推移の表示や、制御温度の最高点/最低点の表示など、様々なオペレーションが実行可能です。^{*3}

ノンフロン
薬用冷蔵ショーケース



MPR-S150H



MPR-S300H



MPR-S500H



MPR-S1201XH

ノンフロン
薬用保冷庫



MPR-N200H



MPR-N250FH



MPR-N450FH



MPR-N650FH

【一般的な冷蔵庫 vs 薬用保冷庫】気になる比較は裏面をご覧ください……▶

*1: 本チラシにおける一般的な冷蔵庫の記述は、当社が調べた範囲での一般的な仕様に基づきます。

*2: 医薬品や試薬類には、それぞれに定められた管理温度があります。当社薬用保冷機器に該当しない管理温度の医薬品や試薬類は、これらの製品に保存しないでください。

*3: 一部の製品については該当の機能を搭載しておりません。



医薬品^{※2}や試薬類^{※2}の保存管理には、「薬用保冷庫」が必要です！

PHCbi薬用保冷庫と一般的な冷蔵庫^{※1}の違い

	PHCbi薬用保冷庫	一般的な冷蔵庫
庫内の 温度分布	庫内の上部、下部、中心など下記9カ所(①～⑨)の各平均温度において、 $\pm 3^{\circ}\text{C}$ の温度分布となる制御を実現。 ^{※3}	冷蔵室内の上部と下部で約 14°C の温度の差が発生。 ^{※1}
霜取り時の 庫内温度	ヒーター式サイクルデフロスト方式により温度制御と同時に霜取りを行うため、常に安定した庫内温度を維持。	一定周期(7～8時間毎)にヒーターをON、冷凍回路をOFFにして霜取りするため、庫内温度が安定しない。
収納物の 凍結	冷凍回路とヒーターの交互運転で制御 庫内冷却部の霜の発達を抑制 温度制御と同時に自動で霜取り 庫内温度を一定に保つ	冷凍回路のON-OFF運転で温度制御 徐々に庫内冷却部に着霜 定期的(7～8時間毎)にヒーターON、冷凍回路OFFで霜取り 庫内温度が不安定
	庫内温度を管理してヒーターを使って庫内温度を制御するため、庫内温度の降下と収納物の凍結を防止。	低外気温の場所では、庫内温度は 0°C 以下になる場合があるため、収納物が凍結する恐れあり。
	冷凍回路とヒーターの交互運転 庫内温度を一定に保つ	冷凍回路のみ運転 低外気温の影響下では、庫内温度が 0°C 以下になる場合も 収納物が凍結する恐れ

※1：本チラシにおける一般冷蔵庫の記述は、当社が調べた範囲での一般的な仕様に基づきます。

※2：医薬品や試薬類には、それぞれに定められた管理温度があります。当社薬用保冷機器に該当しない管理温度の医薬品や試薬類は、これらの製品に保存しないでください。

※3：パリデーション当社社内規定に基づいて平均温度を測定した場合の値です。また、参考とする規格により、測定方法および結果が異なる場合がございます。

●お問い合わせは

PHC株式会社

バイオメディカ事業部

〒105-8433

東京都港区西新橋3丁目7番1号

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。

●製品の価格および仕様・定格・デザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。

●実際の製品には、ご使用の注意を表示しているものがあります。

このチラシの記載内容は
2025年9月現在のものです。

<https://www.phchd.com/jp/biomedical/>

100034-2025-10-AA